1　県立広島大学の入学者選抜の特徴

県立広島大学では，通常の個別学力検査等とあわせて，「学力の３要素」（１．知識・技能，２．思考力・判断力・表現力，３．主体性・協働性）などについてより多面的・総合的に評価するため，様々な入学者選抜方法等を導入しています。
その中でも特徴的なものを説明します。

(1) 地域課題解決に向けた志向性の評価

本学では「課題探究型地域創生人材」の育成を目標としており，そのために必要な志向性を評価する選抜方法として次の評価制度を導入しています。
課題探究型地域創生人材とは・・・広島県に限らず全国，さらには海外も含め，自らが暮らし，活動してきた地域に目を向け，そこに生じている様々な分野の課題に関心を持ち，他者とも協働しながら主体的に課題探究を行い，その解決に向けて積極的に行動していこうとする熱意や意欲を持ち，行動できる人。

①　「主体性・協働性」の評価

ア　「主体性・協働性」は，高等学校等における学びの履歴について，総合型選抜，学校推薦型選抜及び社会人特別選抜で，調査書等を中心として評価し，得点化を行います。
イ　調査書における評価（記載）項目については，各学部・学科等の各選抜区分において設定することとし，具体的な内容を，本学ホームページ又は学生募集要項等において明示します。
ウ　令和６年度入学者選抜において，本学では JAPAN e-Portfolio を利用しません。
エ　令和６年度入学者選抜においては，新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえ，総合型選抜及び学校推薦型選抜では，高等学校等における部活動等の諸活動の実績や資格・検定試験等の成績を評価する際には，評価の方法や重み付け等に配慮し，諸活動や資格・検定試験等が中止・延期等となった場合でも，この間の個々の志願者の成果獲得に向けた努力のプロセスや主体的な取組，本学で学ぼうとする意欲を多面的・総合的に評価します。
オ　令和６年度入学者選抜において，調査書については，出席日数や特別活動の記録や，その他，指導上参考となる諸事項の記載が少ないこと等をもって，入学志願者が不利益を被ることがないよう配慮します。

②　「県立広島大学・地域への志向性」の評価

本学が掲げる「課題探究型地域創生人材」の育成の観点から，すべての学部及びすべての選抜区分（ただし，外国人留学生特別選抜は除く）において実施します。以下に示すような取組の中から，自身が課題だと考えた点，解決したい・掘り下げてみたいと考えた内容について，今後，自身の大学での学びにどのようにつなげていきたいかを受験者が記載した「評価申請書（提出は任意）」に基づき，最大５点までの範囲で加点方式により，評価します。
なお，取組の時期は問いません。

ア　本学が公開する講座や高大接続事業等への参加（オンラインによる視聴等を含む）
【公開講座や高大接続事業等の例】
・高大連携公開講座（教育ネットワーク中国主催）
・備北地区中高大連携公開講座「大学で何を学ぶか」（教育ネットワーク中国主催）
・地域基盤研究機構地域連携センター公開講座
・「県大へ行こうー授業公開ー」（本学の公開授業）
・模擬講義（オープンキャンパスや施設見学等の企画として本学において実施／高等学校において実施）
イ　他大学が公開する講座や高大接続事業等（アに準ずるもの）への参加（オンラインによる視聴等を含む）
ウ　「総合的な学習の時間」における取組
エ　地域における取組等（ボランティア活動への参加や，部活動等において地域に関する活動等に取組んだ場合）
オ　その他「県立広島大学・地域への志向性」の取組と認められるもの（本学教員の著書や論文の読了，本学ホームページの閲覧等）

(2) 個別学力検査等における「総合問題」の出題

教科・科目に対する「知識・技能」を問うことに加えて，高等学校段階までに習得した「知識・技能」を活用（応用）する力をより重視する必要があるため，理解力・表現力，論理的思考力等を総合的にみる形式の問題を出題します。
※　令和６年度入学者選抜では，一般選抜（前期日程・後期日程）において出題します。（詳細は８ページを参照。）

＜身体障害者等の受験上の配慮及び修学上の配慮相談＞

本学では，身体等に障害のある入学志願者等の，受験上及び修学上の配慮について相談を受け付けています。

詳細は，43 ページ及び各入学者選抜の学生募集要項や県立広島大学ホームページ（下記 URL）を確認してください。

https://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/32/hairyo.html

2　令和６年度入学者選抜における主な変更点等

令和６年度入学者選抜における，大きな変更点はありません。また，出願資格及び出願要件については，次のとおり取扱います。

(1) 一般選抜，学校推薦型選抜，総合型選抜及び帰国生徒特別選抜

令和６年度入学者選抜においては，すべての学部で，出願要件としての語学資格・検定試験の結果の利用は行いません。

(2) 社会人特別選抜

地域創生学部地域創生学科地域文化コース及び健康科学コースの出願要件である TOEFL 又は TOEIC（公開テスト）の結果の提出は，新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえ，令和６年度入学者選抜においては不要とします。

(3) 外国人留学生特別選抜

新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえ，次のとおり取り扱います。

① 出願要件である日本留学試験の受験について，令和６（2024）年度入学者選抜においては，昨年度（2022 年度）に実施された日本留学試験を受験している者についても，出願を認めます。

② 出願要件である TOEFL 又は TOEIC（公開テスト）の結果の提出は，令和６年度入学者選抜においては不要とします。

3　入学者選抜日程

■　学部

区分		募集要項公表	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
一般選抜	前期日程	10月中旬	1月22日(月) ～ 2月2日(金)	2月25日(日)	3月8日(金)	3月9日(土) ～ 3月15日(金)
	後期日程			3月12日(火)	3月20日(水)	3月21日(木) ～ 3月27日(水)
学校推薦型選抜		9月上旬	11月1日(水) ～ 11月8日(水)	11月22日(水)	12月13日(水)	12月14日(木) ～ 12月22日(金)
					共通テストを課す場合 2月9日(金)	共通テストを課す場合 2月10日(土) ～ 2月16日(金)
総合型選抜		7月下旬	9月1日(金) ～ 9月8日(金)	第1次選抜結果通知日 9月22日(金) 第2次選抜期日 10月7日(土)	11月1日(水)	11月2日(木) ～ 11月16日(木)
社会人		7月下旬	9月15日(金) ～ 9月22日(金)	地域創生学部・保健福祉学部 10月5日(木) 生物資源科学部 10月7日(土)	11月1日(水)	11月2日(木) ～ 11月16日(木)
帰国生徒		10月中旬	1月4日(木) ～ 1月11日(木)	1月25日(木)	2月5日(月)	2月6日(火) ～ 2月23日(金)
外国人留学生		10月下旬	1月4日(木) ～ 1月11日(木)	1月25日(木)	2月5日(月)	2月6日(火) ～ 2月23日(金)

※　各選抜区分の詳細については，学生募集要項で公表します。必ず，確認の上，出願してください。

4　入学定員及び募集人員

学部	学科・コース		入学定員	募集人員の内訳(人) 一般選抜 前期日程 前期	一般選抜 前期日程 コース選択	一般選抜 後期日程 後期	一般選抜 後期日程 経過選択	特別選抜 学校推薦型選抜 県内高等学校等	特別選抜 学校推薦型選抜 県内専門高等学校等	特別選抜 学校推薦型選抜 全国高等学校等	特別選抜 学校推薦型選抜 県外高等学校等	特別選抜 総合型選抜	特別選抜 社会人特別選抜	特別選抜 帰国生徒特別選抜	特別選抜 外国人留学生特別選抜
地域創生学部	地域創生学科	地域文化コース	165	36	—	—	27	16 （一般枠 8 異文化体験枠 8）	—	—	4 （一般枠 2 異文化体験枠 2）	—	2	—	3
		地域産業コース		32 （経営志向枠 17 応用情報志向枠 15）				26 （経営志向枠 16 応用情報志向枠 10）	3 （経営志向枠 2 応用情報志向枠 1）	7 （経営志向枠 4 応用情報志向枠 3）	—		4		5 （経営志向枠 3 応用情報志向枠 2）
		健康科学コース	35	20		—	—	9	2	—	—	—	2	—	2
生物資源科学部	地域資源開発学科		40	14	—	—	—	4	6 （農業 4 商業工業 2）	5	—	5	2	2	2
	生命環境科学	生命科学コース	100	23		—	20	6	2	5	—	—	2	—	2
		環境科学コース		23				6	2	5	—		2	—	2
保健福祉学部	保健福祉学科	看護学コース	190	31	6	6	—	18	1	—	—	—	2	—	—
		理学療法学コース		15		3		9	—	—	—		2		
		作業療法学コース		15		3		9	—	—	—		2		
		コミュニケーション障害学コース		15		3		7	—	2	—		2		
		人間福祉学コース		21		4		11	1	2	—		—		
合計			530	245	6	19	47	121	17	26	4	5	22	2	16

（注）

1　一般選抜（前期日程）の保健福祉学部保健福祉学科と，一般選抜（後期日程）の地域創生学部地域創生学科（地域文化コースと地域産業コース）及び生物資源科学部生命環境学科においては，それぞれ，「コース選択」と「経過選択」の募集を行います。

2　「異文化体験枠」…地域課題の多文化理解に必要な語学力や，高等学校入学後の海外留学，研修又は国内における国際交流活動などの異文化体験等を評価し，選抜を行います。

「経営志向枠」…主として経営の専門性を身につけながら，多様な主体と協働していくことができる幅広い知識や資質も併せ持ち，地域産業の維持・発展・創造を志向することを希望する学生のための募集枠です。

「応用情報志向枠」…主として応用情報の専門性を身につけながら，多様な主体と協働していくことができる幅広い知識や資質等も併せ持ち，地域産業の維持・発展・創造を志向することを希望する学生のための募集枠です。

3　特別選抜における合格者が募集人員に満たなかった場合は，学科・コースごとに一般選抜（前期日程）の合格者で補充します。

4　一般選抜（前期日程・後期日程）の後，定員充足状況等により追加の選抜試験を実施する場合があります。